

# 採血を受けられる患者さまへのお願い

## ご本人様確認を行います

採血を「間違いなく」・「安全に」行うため以下のことを確認させていただいております。

① <検査受付番号>票の確認作業



② ご自身で姓名を名のっていただく



## 安全に採血するため、下記の方は採血スタッフにお申し出ください

① 採血時にご気分の悪くなられる方



② 手袋や消毒薬にアレルギーをお持ちの方



③ 血液透析を受けている方



④ 乳房切除手術を受けられた方



⑤ ワーファリン、アスピリンを服用している方



⑥ 採血に関して：疑問・不明な点は採血スタッフまでお気軽にどうぞ



# 採血を受けられる患者さまへ

## 採血について

※ 採血には患者さまのご理解とご協力が必要です。よろしくお願いいたします。

「採血」は、血液中に含まれる酵素や化学成分、抗体および細胞などの存在や量を数値化し、その数値の変化により、病気の診断や病状変化の判定のために必須の検査です。採血は、基本的には安全性の高い医療行為ですが、ごくまれに痛みがしばらく続いたり、しびれや内出血がおきることもあります。医師は、この点も考慮して採血によって得られる有用性が、採血を行う危険性より上回ると判断した場合に採血をお勧めしております。このような採血の必要性・危険性をご理解のうえ採血をお受けいただきますようお願い申し上げます。

## 採血を受けられる患者さまへのお願い

採血を「間違いなく」・「安全に」行うため以下のことを確認させていただいております。

### ご本人確認

- ① <<検査受付番号>>票の確認作業
- ② ご自身で姓名を名のっていただく



安全性確保のため、右項目についてはスタッフにお申し出ください

- ① 抗凝固薬・抗血小板薬（ワーファリン、アスピリンなど）を服用している方
- ② 血が止まりにくいと言われたことがある方
- ③ 採血時にご気分の悪くなる方
- ④ 過敏症やアレルギー（消毒薬、ラテックスなど）をお持ちの方
- ⑤ 血液透析中の方
- ⑥ 乳房切除術を受けられた方



## 「採血合併症」について

ごく稀に健康被害(合併症)が起きることがあります。採血合併症には下記のようなものがありますので、症状が出た場合は、速やかにスタッフにお申し出ください。

その際の医療は、通常の保険診療となります。

### 皮下血腫、止血困難

穿刺した血管から血液が漏れ、皮下や体外に出血が起きる場合です。穿刺後の押えが不十分な場合や、穿刺時の内出血が原因で起こることがありますので、採血後 5 分程度は圧迫止血をお願いいたします。抗血栓薬を服用中の方などは、さらに止血に時間を要してください。

### アレルギー・過敏症

採血に使用する器具(手袋)や薬剤(アルコール)により、アレルギー反応や過敏症をきたすことがあります。止血パットは 30 分以内に外してください。

### 血管迷走神経反応

採血中あるいは採血直後に一時的に血圧が低下し、気分不快、冷汗、顔面蒼白などを生じることがあります。心理的に緊張、不安が強いと起こりやすいとされます。

### 神経損傷

穿刺した針によって穿刺部位付近の神経が損傷されることで起きます。神経の分布は個人差が大きいので、神経損傷を 100%防止することはできません。一般的には、太い神経の断裂などの可能性は極めて低く、損傷は軽度であり症状は軽く一時的な場合がほとんどです。

※ 採血についてのご質問、パンフレット希望の方はスタッフにお申し出ください

